京都シンポジウム 2016 in 京大（第２回KURRN国際シンポジウム）

リスク研究のあり方を探る
―政策に活かす視点から

2016. 8.31.wed. 13:00-17:00

京都大学百周年時計台記念館2階
国際交流ホール1&2

言語：日本語・英語（同時通訳あり）
参加費無料

司会進行：**楠見孝**（京都大学 教育学研究科教授）、**米田稔**（京都大学 工学研究科教授・KURRN世話役）
開会挨拶：**稲葉カヨ**（京都大学理事・副学長）

基調講演　「EU、ドイツにおけるリスク科学者の政策への関与」

Ortwin Renn（Scientific Director at the Institute for Advanced Sustainability Studies (IASS)、シュトゥットガルト大学 Affiliate Professor／国際リスク研究学会元会長）

報告
1. 「文化心理学研究から見た日本のリスク認知」
   内田由紀子（京都大学 こころの未来研究センター准教授）
2. 「市民のリスクリテラシー向上に寄与できるか―２段階双方向リスクコミュニケーションの有効性」
   鬼頭弥生（京都大学 農学研究科研究員）
3. 「個人毎に異なる基準値は受け入れられるか」（仮）
   島田洋子（京都大学 工学研究科准教授）
4. 「廃棄物行政におけるリスクコミュニケーション」（仮）
   浅利美鈴（京都大学 地球環境学堂准教授）
5. 「防災から減災へ―想定外リスクとの付き合い方」
   大西正光（京都大学 防災研究所巨大災害研究センター准教授）
6. 「医療におけるリスクコミュニケーションと共有意志決定」
   北澤京子（京都大学 医学研究科博士課程，京都薬科大学客員教授）
7. 「京都大学におけるリスク研究のこれから―リスク管理から、政策貢献へ」（仮）
   松井康人（京都大学 環境安全保健機構准教授）

全会場ディスカッション
閉会挨拶：**新山陽子**（京都大学 農学研究科教授・日本リスク研究学会前会長）

参加申込み
Emailでお申込みください。お名前・ご所属を記入し、件名に「シンポジウム参加申込み」と明記のうえ、京都大学リスクリサーチネットワーク事務局 kyotou.rrn@gmail.com 宛にお送りください（定員100名）。

アクセス
京都駅から 市バス17系統「百万遍」下車 または 206系統「京大正門前」下車
阪急河原町駅から 市バス3・17 系統「百万遍」下車
または 31・203 系統「京大正門前」下車
京阪出町柳駅から 徒歩２０分

主催：京都大学リスクリサーチネットワーク(KURRN)，日本リスク研究学会
お問合せ：京都大学リスクリサーチネットワーク(KURRN)事務局　E-mail: kyotou.rrn@gmail.com
シンポジウムホームページ：http://risk.env.kyoto-u.ac.jp/kurrn/J-kurrn.html